

鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事におけるその他の用具を起因物とする死傷災害発生事例

(2017年)

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	10~11	現場内の山留工事資材ヤードでH鋼材料（H550×150、L=6m、7本）を移動する作業をしている時に吊り荷を下ろす際、適正なりん木を使用していなかった為、荷を降ろした時に手前のH鋼が倒れ右足甲が下敷きになり被災した。	37	—
2	16~17	事業所作業場において廃材物を片付けるため分別作業を行っていた。その際、マッサージ機械を運ぼうとしたが力を入れた体勢が悪かったため、腰部を捻挫した。	31	1~9
3	9~10	当社駐車場において、12tトラックの荷台に積んであった足場材（アルミ製）を定位置に降ろそうと荷台に乗り作業を始めようとしたとき、誤って足場材から足を滑らせ落下し、左胸部、左腕、腰を地面に打ちつけた。	38	1~9
3	15~16	1階にある台車が9階で必要となり、台車には生コンの入ったトロ箱（200kg）が乗っていた。2名で下そうと、最初は2名で持ち上げたが持ち上がらず、1名が台車を押さえ、もう1名がトロ箱を少しずつずらして下そうとした際、雨天のためトロ箱が滑り落ち、近くにあったトロ箱との間に右手人差し指を挟んだ。	57	1~9
4	11~12	資材置場にて布板（1,829mm×500mm）を積み重ねる資材整理作業中に、持っていた布板とその下の布板との間に左手指を挟み負傷した。	65	30~49
4	9~10	場所打杭工事において、安定液の注入が完了したため、ホースを移動するべく吐出口金具の取手にクレーンの孫フックをかけて吊り上げたところ、取手の溶接部が外れ、吐出口金具が落下して金具が跳ね返り、下部で作業していた作業員の左ふくら	59	1~9

		はぎに当たった。		
5	16~ 17	H=GL+約800mmの玄関ポーチ上から、次の住戸へ移動するために、プラスチック製のステップに足をかけて降りようとしたところ、プラスチック製のステップの端を踏んだためステップから転倒し、捨てコンクリート上に落下転倒し、左手首を捨てコンクリートに打ちつけた。	48	1 ~ 9
5	16~ 17	足場組立中にウインチ作業をしている時、木製足場板（4.0m）をたて吊りしている時、真中の足場板が抜けて落下し、下にいる鳶工に当たった。	23	10 ~ 29
5	16~ 17	現場1階に向かう通路右側の既設窓枠鉄格子を撤去する為、被災者はバールを使用して取外そうとしたところ、バールが外れ尻もちをついた。	42	1 ~ 9
6	11~ 12	C棟南側で、被災者がモルタルホッパーの掃除をしている時に、開けて固定していた網の蓋が閉まり、ホッパーの縁に添えていた左手を挟み、人差し指を切創し、骨折した。	68	10 ~ 29
7	16~17	農産物加工施設新築現場にて、脚立に昇り高さ1.2mの所でサッシ枠にモルタルを充填する作業を行った。作業が終了し、建物の梁に架けた安全帯を外そうとしたところ、梁にフックが引っ掛かったので、ロープを強く引いたらフックが急に外れ顔に飛んで来て左まぶた上に当たり負傷した。	61	10 ~ 29
7	10~11	建物内部でコンクリートの壁をエアカッターでカットする作業中、後ろに気配を感じて振り向いた際、誤ってエアカッターのハンドルから右手が離れ、左手だけでエアカッターを支える状態となった。このとき、エアカッターの刃が右手首に当たり、受傷した。	38	1 ~ 9
7	9~ 10	自社資材センター内において、ストックヤードに2t車の荷台から積荷（足場資材）を荷下ろし作業中に、籠パレットの上からバランスを崩し、転倒しかけて着地した際、全体重が左足にかかり、左膝の半月板を損傷した。	35	10 ~ 29
7	16~ 17	現場南東部分の外部階段周辺で、作業用の仮設足場の組立作業中に、仮置きしてあった状態の仮設足場資材（鋼製布板）が下方へ落下し、被災者の両肩に直撃し	15	1 ~

		た。		9
11	16~ 17	駅前リノベーション計画分譲マンションA棟新築工事で、スラブ張り作業をしていたところ、スラブの精度を求める為地中梁鉄筋から2m単管パイプでスラブの小口を合わせようとしていた。鉄筋からパイプが外れて勢いの余り転倒して、右手首を負傷した。	43	—
11	17~ 18	個人宅新築工事の現場で、片付けた荷物を、トラックの荷台に積み込み、ロープで固定する作業中、ロープを強く引っ張ったところ、ロープが切れ反動で、後方に尻もちをついた時、とっさに右手をつき、手首を負傷した。	57	1 ~ 9
12	15~16	現場4Fで型枠組立作業中、型枠材に穴を開けようと墨壺を使用していた際、墨壺の先端（カルコ部）の差しが甘く、先端部が抜け、その反動により抜けた先端部が左目に刺さり負傷した。	66	1 ~ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)